2027年3月期 第２四半期決算　補足説明資料

2026年11月12日
東京ラヂエーター製造株式会社
証券コード：7235　東証

2027年3月期 第２四半期累計 決算概要

■売上高　191億円、営業利益 16.2億円、当期純利益 11.9億円

・日本、アジアでの売上伸長により、売上高は前年比+10%の増収
・日本の利益拡大が寄与し、営業利益は前年比+29%の増益
・為替差損や税金費用の増加を吸収し、当期純利益は前年比+13%の増益

（単位：百万円）	**２６年度実績**	２５年度実績	増減（前年比）	
			増減額	増減率
売上高	**19,131**	**17,364**	+1,767	+10%
営業利益	**1,622**	**1,253**	+368	+29%
（営業利益率）	**(8.5%)**	**(7.2%)**	(+1.3pt)	
経常利益	**1,637**	**1,367**	+269	+20%
（親会社株主に帰属する）当期純利益	**1,188**	**1,053**	+134	+13%

為替レート (平均レート)

通貨	26年度2Q累	25年度2Q累
CNY	23.0	20.5
IDR(100)	0.91	0.89
THB	4.9	4.5

2027年3月期 第２四半期累計 セグメント別売上高・営業利益

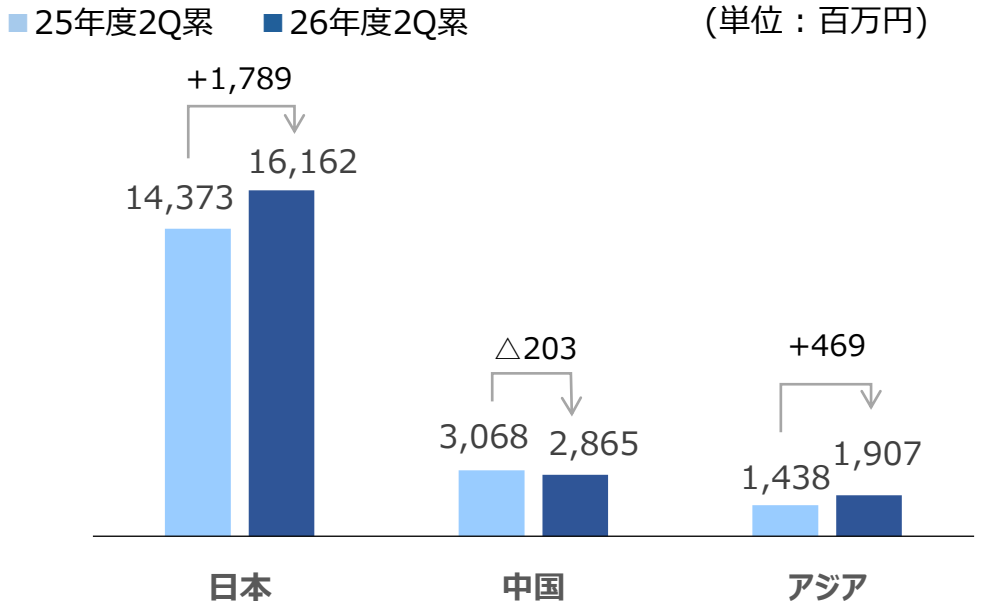
・**日本**　自動車・建設機械向けの売上が堅調に推移し、増収・増益
アルミ価格の上昇や中東情勢に伴うコスト増があったものの、増収効果や価格転嫁に加え、
合理化などの原価低減活動で吸収

・**中国**　中国国内の乗用車市場の需要低迷により、減収
コスト削減を進めたものの、減収の影響を補いきれず減益

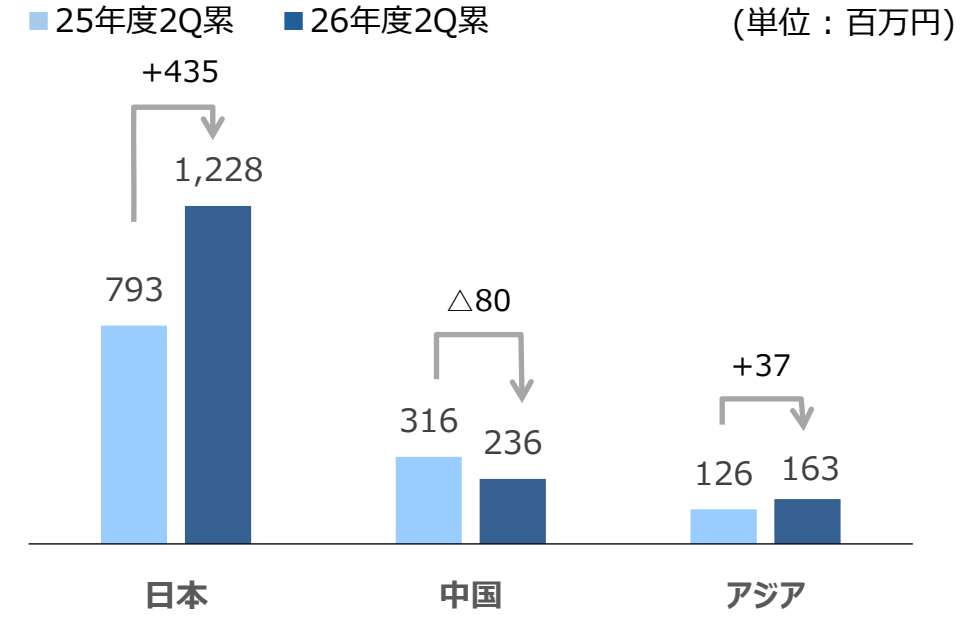
・**アジア**　主要顧客の生産増により、タイ・インドネシアともに増収
前年の一過性利益の反動減を増収効果で補い、増益

※各セグメントの数値は連結調整前

売上高 (前年比 +1,767百万円)

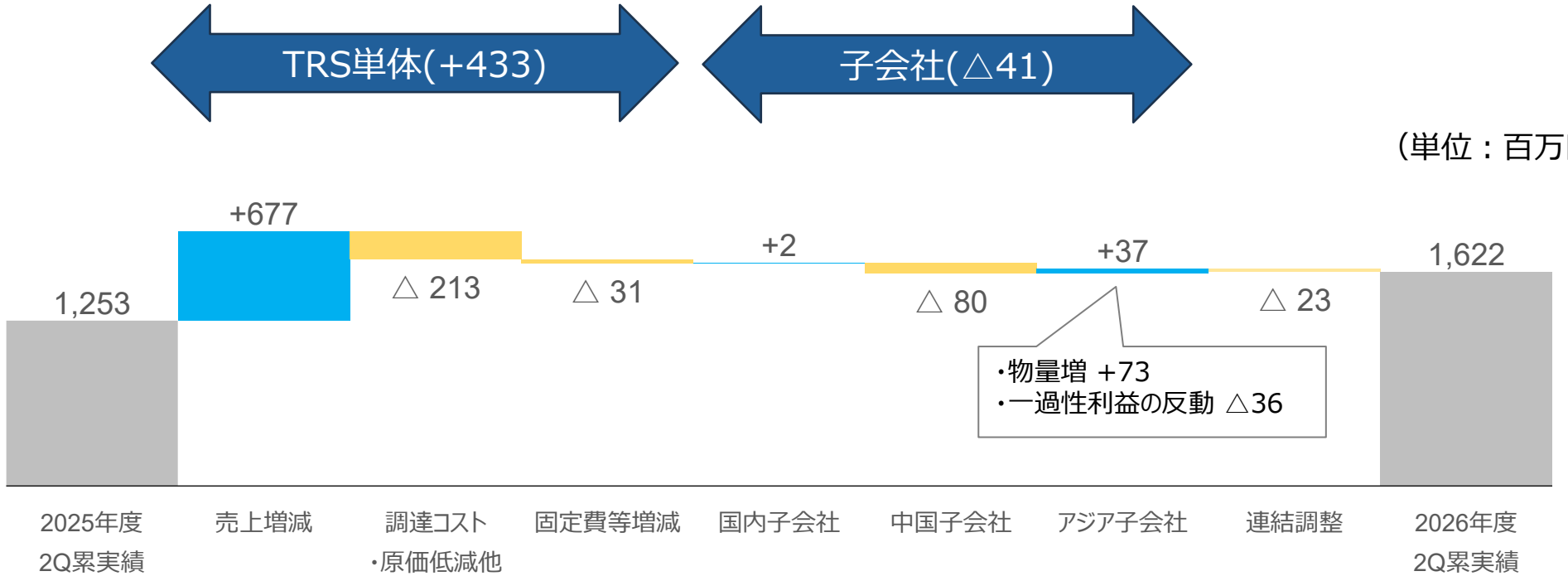


営業利益 (前年比 +368百万円)



2027年3月期 第２四半期累計 営業利益の変動要因

・TRS単体は売上増（物量増、価格転嫁）に加え、合理化などの原価低減活動により
　調達コスト増を吸収し、前年比433百万円の増益
・子会社は中国子会社の減益が影響し、合計で41百万円の減益
・連結営業利益は、前年比368百万円増の1,622百万円



2026年度 ９月末 財務状況

（単位：百万円）	２６年 9月末	２６年 ３月末	前年度末比
流動資産	22,300	21,293	+1,007
内 (現預金)	(9,310)	(8,544)	(+766)
(売上債権)	(8,934)	(8,978)	(△44)
(棚卸資産)	(3,252)	(3,203)	(+49)
固定資産	12,136	12,145	△9
資産の部	34,437	33,439	+998
流動負債	5,933	6,058	△125
固定負債	1,174	1,281	△106
負債の部	7,108	7,339	△231
自己資本	25,442	24,065	+1,377
その他 (非支配株主持分)	1,886	2,034	△147
純資産	27,329	26,099	+1,229
負債及び純資産合計	34,437	33,439	+998
自己資本比率(%)	73.9	72.0	+1.9

2027年３月期 第２四半期累計　キャッシュフロー

■フリー・キャッシュフローは前年比754百万円増の2,403百万円

（単位：百万円）	２６年度 実績	２５年度 実績	前年比
税前利益	1,621	1,262	+359
減価償却費	598	618	△20
運転資本増減	237	188	+49
その他	△773	△210	△563
(1) 営業キャッシュフロー	1,684	1,858	△174
(2) 投資キャッシュフロー	718	△209	+928
(1)+(2) フリー・キャッシュフロー	2,403	1,649	+754
(3) 財務キャッシュフロー	△579	△425	△154
現金および現金同等物	7,723	7,650	+73

（補足）セグメント別売上高/営業利益（四半期別推移）

（単位：百万円）		25年度					26年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
日本	売上高	7,073	7,300	7,691	7,569	29,633	7,714	8,448
	営業利益	414	379	519	368	1,680	503	725
中国	売上高	1,608	1,460	1,322	1,570	5,960	1,396	1,469
	営業利益	198	118	50	93	459	82	154
アジア	売上高	752	686	717	770	2,925	940	967
	営業利益	89	37	70	△14	182	99	64
連結調整	売上高	△720	△796	△782	△838	△3,136	△812	△991
	営業利益	26	△10	6	14	36	19	△25
連結合計	**売上高**	**8,714**	**8,650**	**8,947**	**9,071**	**35,382**	**9,238**	**9,893**
	営業利益	**729**	**524**	**644**	**461**	**2,358**	**703**	**919**

(補足) 市場別外部売上高（四半期別推移）

（単位：百万円）

市場	セグメント	25年度						26年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間		1Q	2Q
		売上高	売上高	売上高	売上高	売上高	構成比	売上高	売上高
自動車	日本	5,896	6,145	6,472	6,311	24,824	70%	6,467	7,113
	中国	1,006	740	649	864	3,259	9%	691	582
	アジア	692	600	637	693	2,622	7%	854	871
	計	**7,594**	**7,485**	**7,758**	**7,868**	**30,705**	**87%**	**8,012**	**8,566**
建設機械	日本	1,005	1,029	1,088	1,095	4,216	12%	1,087	1,165
	中国	54	51	21	34	161	0.5%	53	66
	アジア	61	85	80	74	300	0.9%	85	96
	計	**1,120**	**1,165**	**1,189**	**1,203**	**4,677**	**13%**	**1,226**	**1,327**
合計		**8,714**	**8,650**	**8,947**	**9,071**	**35,382**	**100%**	**9,238**	**9,893**

2026年度　通期業績予想

■部材費の高騰影響や中東情勢などによる先行きの不透明感はあるものの、
上期実績と足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を上方修正

■年間配当予想は87円に引き上げ（前回予想比10円増、前年比22円増）

（単位：百万円）	**26年度 今回予想**	25年度 実績	前年比	26年度 前回予想	前回 予想比
売上高	**38,500**	35,382	+3,118	35,500	+3,000
営業利益	**2,900**	2,358	+542	2,450	+450
（営業利益率）	**(7.5%)**	(6.7%)	(+0.8pt)	(6.9%)	(+0.6pt)
経常利益	**2,910**	2,541	+369	2,600	+310
（親会社株主に帰属する）当期純利益	**2,050**	2,038	+12	1,800	+250
一株当たり配当金（円）	**87.0円**	65.0円	+22円	77.0円	+10円

通貨	今回 予想	前回 予想
CNY	23.2	20.7
IDR(100)	0.91	0.89
THB	4.9	4.5

2026年度 セグメント別通期業績予想

・**日本**　自動車・建設機械向け売上は堅調に推移する見通し
前年比・前回予想比とも増収・増益を見込む

・**中国**　国内需要減により第3四半期以降も減収が続き、前年比で減収減益を見込む
前回予想比では、為替影響により売上高は増収となる一方、国内需要減の影響等により減益を見込む

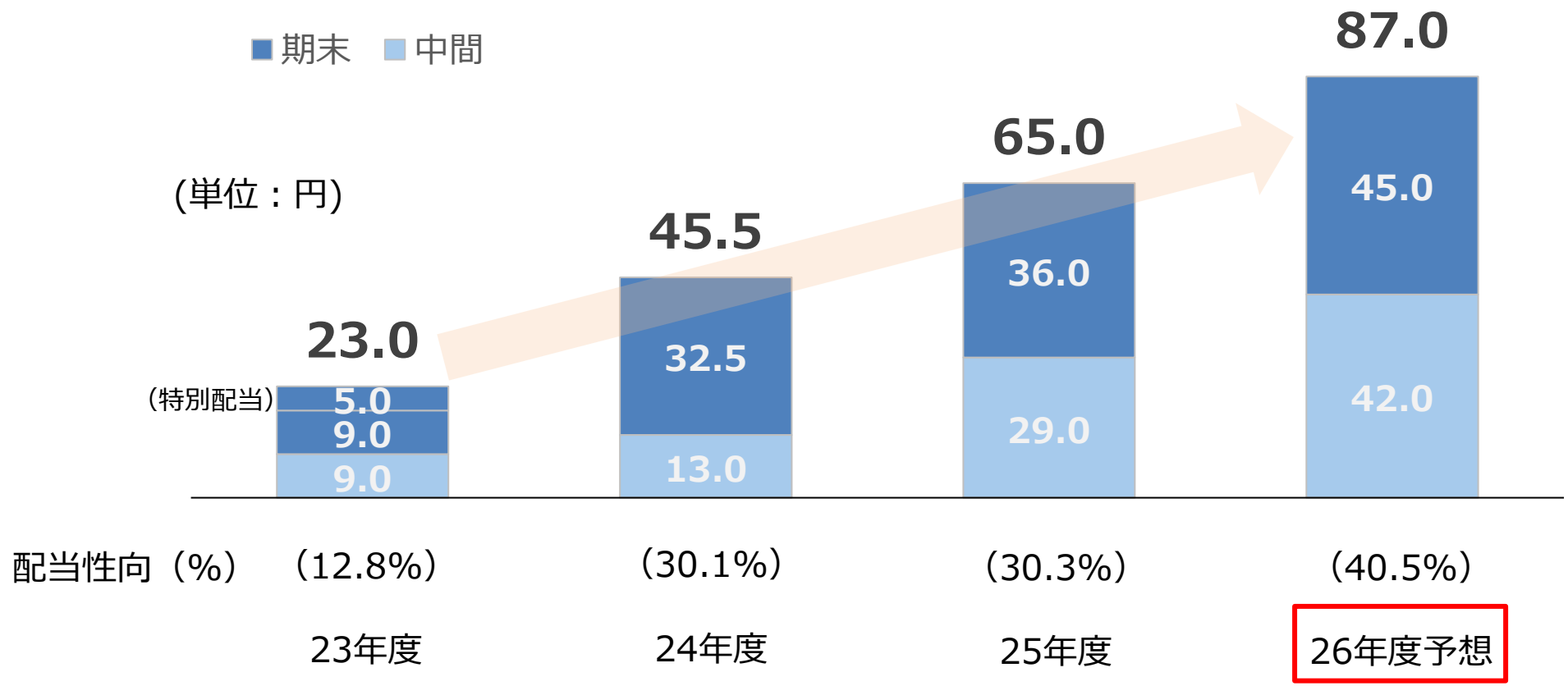
・**アジア**　主要顧客の生産増を背景に、前年比・前回予想比とも増収・増益を見込む

(単位:百万円)	26年度今回予想		25年度実績		前年比		26年度前回予想		前回予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	**33,000**	**2,400**	29,633	1,680	+3,367	+720	30,700	2,000	+2,300	+400
中国	**5,200**	**250**	5,960	459	△760	△209	5,000	300	+200	△50
アジア	**3,800**	**250**	2,925	182	+875	+68	3,000	150	+800	+100
連結調整	**△3,500**	**0**	△3,136	36	△364	△36	△3,200	0	△300	±0
合計	**38,500**	**2,900**	35,382	2,358	+3,118	+542	35,500	2,450	+3,000	+450

配当の推移

26年度の年間配当予想を87円に上方修正（前回予想比＋10円）

※中期経営計画 株主還元方針：配当性向40%を目安とする



中期経営計画 資本政策について

必要な手元流動性を確保し、成長投資と株主還元に資金を配分

資本配分の考え方

成長投資を優先

・成長領域への投資
（電動化・自動運転等）
・事業目標の達成に必要な投資

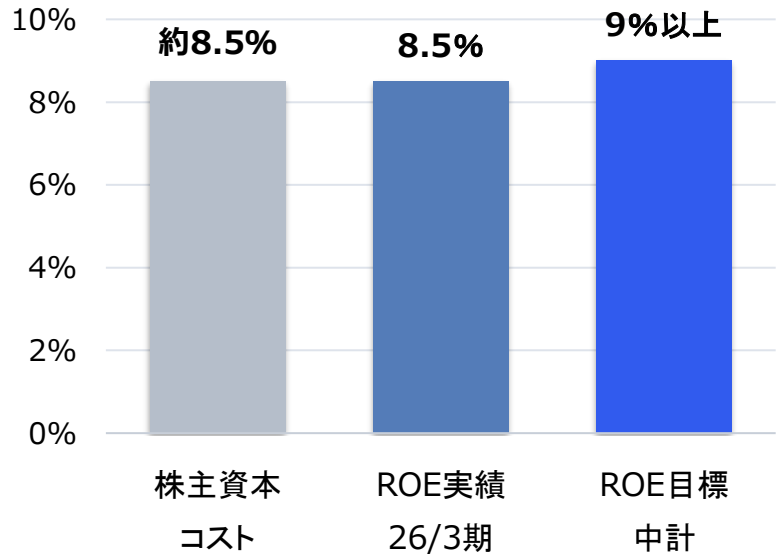
株主還元

配当性向40%を目安とする
＋
27/3期～28/3期の2期間で、自己株式の取得を予定（総額 約15億～20億円）

財務健全性：手元流動性は月商2.2か月分を下限として維持
事業規模の拡大に応じて必要額を見直し

資本効率の向上

ROE 9%以上を目標



株主資本コストを上回るROEを目指す

自己株式の取得は、成長投資と手元流動性の確保を前提に、市場環境を踏まえて機動的に実施します
取得規模・時期は、決定次第速やかに開示します

トピックス





2026年11月7日

SUPER GT Round3 GT500

優　勝　　**TRS IMPUL with SDG Z**

モータースポーツ協賛を通じた
TRSブランド価値向上

レースでの勝利を、
TRS WAY「変わる・応える・高める」の発信へ
― 挑戦する姿勢を「TRS Vision-2030」の推進力に

免責事項

本資料に掲載されている予想等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものであります。従いまして、その後の状況の変化により、将来の業績結果が記載内容と大きく異なる結果となる可能性がございます。

本資料は投資家の皆様各自でのご判断と責任においてご利用いただくことを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任を負いませんことをご承知おきください。